

国内でのトラック輸送においてリニューアブル燃料 (再生可能資源由来の燃料) の導入を年内に開始

- 本格導入に先立ち、実証実験を実施中 —
- 従来の燃料と比較し、CO₂排出量を約90%削減※¹ —



リニューアブル燃料の給油スタンド（東部ネットワーク 海老名営業所）

この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーホールディングス（株）は、年内に、国内での製品のトラック輸送の一部で、リニューアブル燃料（再生可能資源由来の燃料）の導入を開始します。

今回使用する燃料は、フィンランドのエネルギー企業、ネステ社が開発した「NESTE Renewable Diesel（以下NRD）」です。NRDは生物（バイオ）由来の非可食油を原料に精製された燃料で、石油由来の軽油を使用した際と比較し、CO₂の排出量を約90%削減※¹できます。既存の車両や給油関連施設をそのまま使用でき、今後国内での利用拡大が期待されています。

NRDの本格導入に先立ち、現在、本取り組みに賛同する5社※²で実証実験を行っています。検証の結果を踏まえ、当社の配送ルートの一部で、年内に本格運用を開始する予定です。

※1 資源採取、原料生産、製品生産、流通・消費の一連での評価

※2 伊藤忠商事(株)、伊藤忠エネクス(株)、鴻池運輸(株)、サントリーホールディングス(株)、サントリーロジスティクス(株)の5社

サントリーグループは、「環境目標2030」の中で、2030年までに温室効果ガス排出量を自社拠点で50%削減^{※3}、バリューチェーン全体で30%削減^{※3}することを目指し、さまざまな取り組みをグローバルに進めています。今回の取り組みをきっかけに、環境負荷低減の取り組みをさらに加速させていきます。

※3 2019年の排出量を基準とする

■実証実験 概要

期間 2022年6月～2022年7月

実験内容 「Neste Renewable Diesel」を使用した運行テスト

検証内容 燃料の性能・運用課題の有無・持続性ほか

運行区間 関東圏の当グループの生産拠点・物流拠点間

参加企業 伊藤忠商事(株)

伊藤忠エネクス(株)

鴻池運輸(株)

サントリーホールディングス(株)

サントリーロジスティクス(株)

▼サントリーのエコ活 輸送

<https://www.suntory.co.jp/eco/teigen/logistics/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。

貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。

水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。

これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。